

そのベビー用品

対象年齢 合っていますか？



赤ちゃん
転落防止



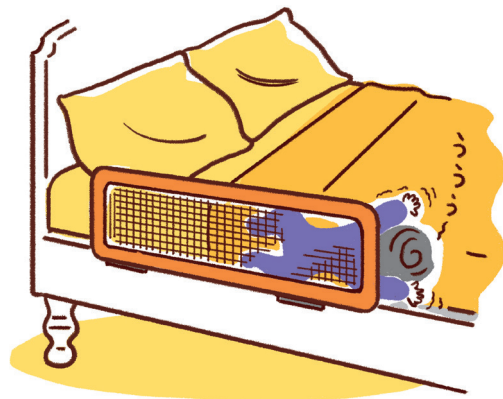
ベッドガードで死亡事故が起きています

2023年5月に、ベッド用落下防止柵（ベッドガード）とマットレスの隙間に、0歳児が、頭が落ち込んだ状態で発見され、死亡した事故が起きました。2017年にも同様の死亡事故が2件起きています。

〈出典：「0～1歳児のベッドからの転落事故に御注意ください！」（消費者庁、2020年）〉

ベッドガードは赤ちゃんの安全確保のために使われていますが、ベッドガードを利用することで、ベッドからの転落を減少させるという科学的根拠がないという研究報告もあります。

〈出典：Injury Alert（傷害速報）No.70 ベッドガード使用時の窒息（日本小児科学会）〉



対象年齢は「安全に使える年齢の目安」

玩具やベビー用品についている「対象年齢」には安全面（安全に使える目安）と発達面（遊びやすさや学びの目安）の2つの意味があります。対象年齢が合ったものを使わないと、事故やケガが起きる可能性があるだけでなく、発達の面でも適していません。「ちょっと大きめ」、「ちょっと先取り」は赤ちゃんにとって適切とはいえないのです。

「何歳(何か月)から使えるか？」購入前に確認

SNSを見ていると、いろいろなベビー用品の情報が流れてきます。気になる商品のページで、価格やブランド名、レビュー等をチェックするとき、対象年齢も確認してください。

例えば、18ヶ月未満児の使用を想定した SGマーク付きのベッドガードはありませんが、赤ちゃんという言葉や写真を載せた販売サイトがあります。また、対象年齢が不明確なベビー用品が多数販売されています。



安全なベビー用品で、安心して子育てしよう



ベビーベッド、ベッドガード、ベビーチェア、抱っこ紐、玩具等、スマホを見ていると様々なベビー用品の情報が流れてきます。どれも子育ての大変さが軽減されそうな魅力的な言葉や写真が載っていますが、それは安全なものですか？

価格や機能だけでなく、対象年齢、安全を示すマーク（★）も確認して、安心して子育てをしましょう。

★安全を示すマークの例

子供PSCマーク



国の定めた技術基準に適合した製品に付けられる PSC マークに子供用が新設。2025 年 12 月 25 日製造・輸入分から、乳幼児用ベッドに左側のマークが、乳幼児用玩具（3歳未満向け）に右側のマークが表示されます。

詳しくは



SGマーク



製品安全協会が定めた安全基準に適合していると認証されたことを示すマーク。ベビー用品では、ベビーカー、乳幼児用いす、抱っこひも等に付いています。